

がん診断されたときからの緩和ケアの推進 ロジックモデル

個別施策
第3次沖縄県がん対策推進計画

中間アウトカム				
指標番号	指標	全国	沖縄	二次医療圏

最終アウトカム				
指標番号	指標	全国	沖縄	二次医療圏

【体制】
<p>①拠点病院等及びがん診療を行う医療機関は、がん患者の身体的苦痛や精神心理的苦痛、社会的苦痛等のモニタリングを診断時から外来及び病棟にて実施するなど、緩和ケアの推進に必要な取り組みを行う。</p> <p>②拠点病院等及びがん診療を行う医療機関は、専門的な資格を有する身体的・精神心理的緩和ケアに携わる医療従事者の育成や適正配置に努める。</p> <p>③拠点病院等は、緩和ケア研修会を受講した医師が所属する、多職種による緩和ケアチームを設置する。</p> <p>④がん診療を行う医療機関は、緩和ケア研修会を受講した医師が所属する、多職種による緩和ケアチームの設置に努める。</p>

【体制】希望する場所で、すべてのがん患者と家族が緩和ケアを受けられている				
4	望んだ場所で過ごせた患者の割合（遺族調査「望んだ場所で過ごせた」と回答した患者・家族の割合）	データ収集集中	データ収集集中	データ収集集中
5	がん性疼痛緩和指導管理料（緩和ケアに係る研修を受けた保険医）（入院＋外来）	100	76.1	北部NA 中部66.4 南部85.1 宮古14.8 八重山NA
	がん患者指導管理料口医師・看護師が心理的不安軽減のため面接（入院＋外来）	100	70.9	北部NA 中部51.5 南部117.5 宮古NA 八重山NA
	外来緩和ケア管理料（外来）	100	NA	北部NA 中部NA 南部NA 宮古NA 八重山NA
6	病院 緩和ケア病棟 病床数（床）（人口10万対）	6.6	7.5	北部0 中部8.0 南部9.3 宮古0 八重山0
	病院 緩和ケア病棟有 取扱患者延数（人：1カ月実績）（人口10万対）	100.4	40.4	北部NA 中部103.6 南部8.5 宮古NA 八重山NA
	緩和ケアチーム対応患者数（全がん 病院 緩和ケアチーム有 患者数（人：1カ月実績）（人口10万対））	23.6	14.2	北部18.7 中部11.0 南部16.1 宮古13.4 八重山9.4
7	緩和医療専門医／認定医（がん患者10万人対）	27.9／75.1	12／95.6	データ収集集中
	緩和ケア認定看護師（がん患者10万人対）	261.6	645.4	データ収集集中
	緩和薬物療法認定薬剤師（がん患者10万人対）	データ収集集中	データ収集集中	データ収集集中
8	緩和ケアチームが活動している専門医療機関の割合	データなし	データ収集集中	データ収集集中
	緩和ケア病棟を有する病院数	データなし	データ収集集中	データ収集集中

患者やその家族の痛みやつらさが緩和され、生活の質が向上している				
1	除痛率（沖縄県がん診療連携協議会緩和ケア部会調査結果）	データ収集集中	データ収集集中	データ収集集中
2	①身体的痛みがある患者の割合（「がんやがん治療に伴う身体の苦痛がある」に対し「とてもそう思う/ある程度そう思う」と回答した患者の割合）	55.4	66.4	データなし
	②治療に伴う痛みがある患者の割合（「がんやがん治療に伴う痛みがある」に対し「とてもそう思う/ある程度そう思う」と回答した患者の割合）	71.5	82.5	データなし
	③精神的痛みがある患者の割合（「がんやがん治療に伴い、気持ちがつらい」に対し「とてもそう思う/ある程度そう思う」と回答した患者の割合）	62.0	60.7	データなし
	④身体的・精神的痛みで生活に困難を抱えている患者の割合（「がんやがん治療にともなう身体の苦痛や気持ちのつらさにより、日常生活を送る上で困っていることがある」に対し「とてもそう思う/ある程度そう思う」と回答した患者の割合）	69.2	70.4	データなし
3	緩和ケアを受けた結果、症状が改善したと思った人の割合	データなし	データなし	データなし

がん診断されたときからの緩和ケアの推進 ロジックモデル

個別施策
第3次沖縄県がん対策推進計画

中間アウトカム				
指標番号	指標	全国	沖縄	二次医療圏

最終アウトカム				
指標番号	指標	全国	沖縄	二次医療圏

【質】
<p>①拠点病院等及びがん診療を行う医療機関は、地域の医療従事者も含めた医療用麻薬に関する院内研修を定期的に実施する。</p> <p>②拠点病院は緩和ケア研修会を開催する。地域がん診療病院は緩和ケア研修会の開催に努める。</p> <p>③拠点病院等及びがん診療を行う医療機関は、緩和ケア研修会に自施設の医療従事者を受講させるよう努める</p>

【質】迅速かつ適切な緩和ケアが受けられる				
9	①速やかな対応を受けた患者の割合 (「つらい症状にはすみやかに対応してくれた」に対し「とてもそう思う/ある程度そう思う」と回答した患者の割合)	75.0	80.1	データなし
患者体験調査 (%) (2018年)	②痛みや苦痛に対する支援が十分であると思う患者の割合 (「身体の苦痛や気持ちのつらさを和らげる支援は十分である」に対し「とてもそう思う/ある程度そう思う」と回答した患者の割合)	43.0	43.5	データなし
	③痛みの評価 (スクリーニング) を受けた割合 (「がんの治療・あるいは治療後で受診した時には毎回、痛みの有無について聞かれましたか」に対し「聞かれました」と回答した患者の割合)	65.3	72.0	データなし
	④身体的な痛みを相談しやすい割合 (「身体的なつらさがある時に、すぐに医療スタッフに相談できる」に対し「とてもそう思う/ある程度そう思う」と回答した患者の割合)	46.5	45.6	データなし
	⑤心の痛みを相談しやすい割合 (「心のつらさがある時に、すぐに医療スタッフに相談できる」に対し「とてもそう思う/ある程度そう思う」と回答した患者の割合)	32.8	37.1	データなし
	10	NDB-SCRを用いた標準的治療の実施割合 (2018年)	100	70.9
11	入院・外来患者に対して、連日痛みのモニタリングを行っている専門医療機関の割合	データなし	データ収集中	データ収集中

最終アウトカム				
指標番号	指標	全国	沖縄	二次医療圏
患者やその家族の痛みやつらさが緩和され、 生活の質が向上している				
1	除痛率（沖縄県がん診療連携協議会緩和ケア部 会調査結果）	データ 収集中	データ 収集中	データ収集 中
2 患者体験 調査 (%) (2018 年)	①身体的痛みがある患者の割合（「がんやがん 治療に伴う身体の苦痛がある」に対し「とても そう思う/ある程度そう思う」と回答した患者の 割合）	55.4	66.4	データなし
	②治療に伴う痛みがある患者の割合（「がんや がん治療に伴う痛みがある」に対し「とてもそ う思う/ある程度そう思う」と回答した患者の割 合）	71.5	82.5	データなし
	③精神的痛みがある患者の割合（「がんやがん 治療に伴い、気持ちがづらい」に対し「とても そう思う/ある程度そう思う」と回答した患者の 割合）	62.0	60.7	データなし
	④身体的・精神的痛みで生活に困難を抱えてい る患者の割合（「がんやがん治療にともなう身 体の苦痛や気持ちのつらさにより、日常生活を 送る上で困っていることがある」に対し「とて もそう思う/ある程度そう思う」と回答した患者 の割合）	69.2	70.4	データなし
3	緩和ケアを受けた結果、症状が改善したと思っ た人の割合	データ なし	データ なし	データなし

個別施策		中間アウトカム					
第3次沖縄県がん対策推進計画		指標番号	指標	全国	沖縄	二次医療圏	
<p><b>【体制】</b></p> <p>①拠点病院等及びがん診療を行う医療機関は、がん患者の身体的苦痛や精神心理的苦痛、社会的苦痛等のモニタリングを診断時から外来及び病棟にて実施するなど、緩和ケアの推進に必要な取り組みを行う。</p> <p>②拠点病院等及びがん診療を行う医療機関は、専門的な資格を有する身体的・精神心理的緩和ケアに携わる医療従事者の育成や適正配置に努める。</p> <p>③拠点病院等は、緩和ケア研修会を受講した医師が所属する、多職種による緩和ケアチームを設置する。</p> <p>④がん診療を行う医療機関は、緩和ケア研修会を受講した医師が所属する、多職種による緩和ケアチームの設置に努める。</p>		<b>【体制】 希望する場所で、すべてのがん患者と家族が緩和ケアを受けられている</b>					
		4	望んだ場所で過ごせた患者の割合（遺族調査「望んだ場所で過ごせた」と回答した患者・家族の割合）	データ収集集中	データ収集集中	データ収集集中	
		5	NDB-SCRを用いた標準的治療の実施割合（2018年）	100	76.1	北部NA 中部66.4 南部85.1 宮古14.8 八重山NA	
			がん患者指導管理料口医師・看護師が心理的不安軽減のため面接（入院+外来）	100	70.9	北部NA 中部51.5 南部117.5 宮古NA 八重山NA	
			外来緩和ケア管理料（外来）	100	NA	北部NA 中部NA 南部NA 宮古NA 八重山NA	
		6	「医療施設（静態・動態）調査」（2017年）	病院 緩和ケア病棟 病床数（床）（人口10万対）	6.6	7.5	北部0 中部8.0 南部9.3 宮古0 八重山0
			病院 緩和ケア病棟有 取扱患者延数（人：1カ月実績）（人口10万対）	100.4	40.4	北部NA 中部103.6 南部8.5 宮古NA 八重山NA	
			緩和ケアチーム対応患者数（全がん 病院 緩和ケアチーム有 患者数（人：1カ月実績）（人口10万対））	23.6	14.2	北部18.7 中部11.0 南部16.1 宮古13.4 八重山9.4	
		7	学会発表	緩和医療専門医／認定医（がん患者10万人対）	27.9／75.1	12／95.6	データ収集集中
			緩和ケア認定看護師（がん患者10万人対）	261.6	645.4	データ収集集中	
緩和薬物療法認定薬剤師（がん患者10万人対）	データ収集集中		データ収集集中	データ収集集中			
8	沖縄県医療機能調査	緩和ケアチームが活動している専門医療機関の割合	データなし	データ収集集中	データ収集集中		
	緩和ケア病棟を有する病院数	データなし	データ収集集中	データ収集集中			

個別施策
第3次沖縄県がん対策推進計画
【質】
<p>①拠点病院等及びがん診療を行う医療機関は、地域の医療従事者も含めた医療用麻薬に関する院内研修を定期的に実施する。</p> <p>②拠点病院は緩和ケア研修会を開催する。地域がん診療病院は緩和ケア研修会の開催に努める。</p> <p>③拠点病院等及びがん診療を行う医療機関は、緩和ケア研修会に自施設の医療従事者を受講させるよう努める</p>

中間アウトカム				
指標番号	指標	全国	沖縄	二次医療圏
【質】 迅速かつ適切な緩和ケアが受けられる				
<b>9</b> 患者体験調査 (%) (2018年)	①速やかな対応を受けた患者の割合 (「つらい症状にはすみやかに対応してくれた」に対し「とてもそう思う/ある程度そう思う」と回答した患者の割合)	75.0	80.1	データなし
	②痛みや苦痛に対する支援が十分であると思う患者の割合 (「身体の苦痛や気持ちのつらさを和らげる支援は十分である」に対し「とてもそう思う/ある程度そう思う」と回答した患者の割合)	43.0	43.5	データなし
	③痛みの評価 (スクリーニング) を受けた割合 (「がんの治療・あるいは治療後で受診した時には毎回、痛みの有無について聞かれましたか」に対し「聞かれた」と回答した患者の割合)	65.3	72.0	データなし
	④身体的な痛みを相談しやすい割合 (「身体的なつらさがある時に、すぐに医療スタッフに相談できる」に対し「とてもそう思う/ある程度そう思う」と回答した患者の割合)	46.5	45.6	データなし
	⑤心の痛みを相談しやすい割合 (「心のつらさがある時に、すぐに医療スタッフに相談できる」に対し「とてもそう思う/ある程度そう思う」と回答した患者の割合)	32.8	37.1	データなし
<b>10</b> NDB-SCRを用いた標準的治療の実施割合 (2018年)	がん患者指導管理料口医師・看護師が心理的不安軽減のため面接 (入院+外来)	100	70.9	北部 - 中部51.5 南部117.5 宮古 - 八重山 -
<b>11</b>	入院・外来患者に対して、連日痛みのモニタリングを行っている専門医療機関の割合	データなし	データ収集中	データ収集中